

認知リハビリテーション

認知症という言葉が痴呆症に代わって使われだして何年か経ちます。もう皆さんもこの言葉がどんな病気を表すものかご存知でしょう。認知症の原因となる病気にはいろいろありますが、認知症が脳の働きが障害される病気であることは共通しています。

脳の働きを改善させる方法として、認知症の患者さんの通うデイサービスや施設では「音楽療法」や「園芸療法」

「学習療法」などが取り入れられてきました。

篠塚病院では、認知症の非薬物療法の

一つとして認知リハビリテーション（以下認知リハ）を行っています。これは言語療法あるいは認知機能検査を応用したもので、より早期の認知症に有効であると考えられています。興味をもたれる方も大勢いらっしゃると思いますのでこの増刊号でご紹介します。

脳の働きと認知症

脳のもっとも大切な働きの一つに認知機能があります。認知機能には、ものの違いがわかる『弁別』・ものを理解する『認識』・ものを覚えておく『記憶』・新しく覚える『記銘』などがあります。（この認知機能は詳しく説明する必要がありますが今回は紙面が限られていますので次の機会に譲ります。）

認知症という言葉はこの認知機能の障害という前提に立ってつけられた名前です。では認知症の方の認知機能はすべて障害されているのでしょうか。そうでないとしたら何が障害されているのでしょうか。

MMS E という認知症の検査

認知症の検査としてMMS E という検査が広く使われています。これは時間・場所・簡単な計算・物の名前・言われたとおり行動すること・

文を読んで理解すること・簡単な文を書くこと・図形を模写することなどの項目を患者さんに質問したりや

ってもらったりして、患者さんの脳の働き（認知機能）の程度を知るという検査です。その質問項目はどんな認知機能を表しているのでしょうか。例えば同じ時間を聞く質問でも「今日は何月ですか」という質問と、「今日は何日ですか」という質問で要求されている認知機能が違います。月は一ヶ月続きます。それに対して日は、毎日変わります。つまり月に対する質問は『長期記憶』という認知機能を検索しており、日に対する質問は『短期記憶』を検索していると考えられます。

福島式認知レベル検査

このようにしてMMS Eの中で認知症の方の間違いやすい検査項目を分析してみますと、い

認知症に対する認知リハ 福島和子

くつかのものを覚える力『記銘』力が最初に障害されることがわかりました。しかも覚えるものの数が多くなればなるほど障害されるのです。そこでこの『記銘』の程度を調べる検査を作成しました。

この検査は福島式認知レベル検査といいます。この検査では、視覚認知・聴覚言語認知・呼称・2単語の記銘・3単語の記銘・4単語の記銘・5単語の記銘を検査します。この検査は左から右の項目にいくに従って難易度が高くなります。

少し説明が難しくなりましたが、これらの記銘課題をプログラムし、施行するのが私たちが行っている認知リハです。この認知リハでは課題を毎日やってもらいます。通院なさる方は家に持って帰って毎日やってもらいます。そうして脳の認知機能を直接刺激します。

このような治療を行うとどうなるのでしょうか、実際の症例をご紹介します。

認知治療の実例

Kさんは50代で2回、左右の脳に脳梗塞を起こしましたが、その後回復し、普通に生活していました。80歳を過ぎて、同じことを繰り返し繰り返し言う、言われたことを覚えてい

れないなどの認知症の兆候がでてきました。そこで認知リハを1ヶ月間行いました。

その結果、下記のグラフのように3単語の記銘・4単語記銘・5単語記銘と成績が向上しました。MMS Eという検査も認知リハを始める前は23点でした。これは認知症の始まりを表す数値ですが、治療後は27点に上がり、認知症の範囲からはずれ、正常レベルに回復しました。日常生活においても同じことを繰り返し訴えるようなことはなくなりました。

この認知リハはKさんのように、認知症の初期の方にはとても効果が上がることがわかっています。まだ脳の働きの障害が少ない段階で適切な方法で脳を刺激することが、脳を活性化することにつながっているのです。ぜひ早期からこの認知リハを活用して下さい。

編集後記

今回は当院および当センターで実際に認知リハを行っている福島和子先生に増刊号として執筆していただきました。認知症の治療には薬物療法以外にも多様なアプローチがありますが、その一つがこの認知リハです。先生は長年にわた

たって認知症の患者さんにこの認知リハを施し、成果をあげています。認知リハについての続編も近々掲載予定ですのでお楽しみに。

もしこの治療法に関心をおもちの患者さん・その家族の方がいらっしゃれば北関東神経疾患センター外来または神経内科外来に声をかけて下さい。適切に対応したいと思います(M.T.)。

